

ほっかいどう N I E 通信

Newspaper in Education

教育に新聞を



発行 北海道N I E推進協議会

〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 北海道新聞社内
☎011-210-5802 FAX 011-210-5826

N I E 原点に戻り 教育活動見直しを

されている。
こうした問題に対応するため、各学校には学校生活から社会生活への接続の改善とキャリア教育の推進が強く求められている。



最近、若者の高い失業率、フリーターやニートの急増、就職後の早期離職等が問題となっており、その背景として、子どもや若者の勤労観や職業観の未熟さが指摘

見直す必要がある。つまり、キャリア教育を推進するために、各活動を進路発達にかかわる諸能力である「コミュニケーション能力、情報収集・検索能力、役割把握・認識能力、選択能力」等の育むという視点で捉え直し、学習プログラムを開

札幌太平洋中学校長

坂田 恵三

能力」等を思い描いてみると、両者は同じ内容のものであることに気付くはずである。つまり、キャリア教育の学習にN I Eを取り入れることにより、子どもたちに望ましい職業観や勤労観を効果的に育むことができることを示しているのだ

ある。
少し前になるが、国際学力比較(PISA)における日本の「読解力」等の順位低下とフィンランドの教育の優秀さが話題となった。東京大学の佐藤学氏は、フィンランド教育の成功の要因として「平等の追求、読書時間の長さ、教師の質の高さ」を指摘している。私たちはN I Eの原点である「子どもたちの文字離れ、読書離れをなくし、子どもたちの社会的自立を促すこと」をもう一度かみしめ、キャリア教育のみならず学校の全教育活動を見直すとともに、家庭や地域を巻き込んだN I Eの推進に真剣に取り組む時期が来ているように思う。

六月、万物の命が新たに躍動する季節。日本列島は気温が上昇しているが教育現場には冷たい向かい風。迷走する教育再生会議の矛先は常に学校へ。広がるクレーム社会、学校も理不尽なクレームの対処のため東京都港区では弁護士による相談窓口の新設。アメリカの訴訟社会の再来か。N I E推進協議会発行の実践集第10集が完成した。43校の実践者は「新聞を教育の場に積極的に取り入れ現実生活に結びつけて子供を育成するには新聞活用は有効であり、新聞には無限のレシ

(高)

新規16校を紹介

道N I E推進協議会07年度総会

地区セミナー、最多9カ所

北海道N I E推進協議会(会長、山田家正・小樽商科大学名誉教授)の2007年度総会が6月9日、北海道新聞社で開かれ、本年度のN I E実践校に内定した、過去最多の44校のうち、新規16校と各校の代表者がそれぞれ紹介された。また、本年度の活動計画、予算などを承認、札幌市内小・中・高の4教諭による実践報告が行われた。

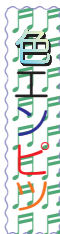
(実践報告の内容は2面に)

総会にはN I E実践校の教諭や学校、報道関係者ら約60人が参加した。来賓として出席した道教委・工藤真嗣指導主事ら



16校を代表して深川一巳小の大島恵一教諭が新聞活用授業に取り組む決意を述べた。
そのあと、本年度の活動計画、予算案、役員改選などが提案され、了承された。本年度は①過去最多となる道内9地区でのN I Eセミナー開催②北海道N I E研究会との共催事業「北海道一大阪N I E実践交流会」開催(8月10日、札幌コンベンションセンター)が予定されている。

N I Eの魅力
六月、万物の命が新たに躍動する季節。日本列島は気温が上昇しているが教育現場には冷たい向かい風。迷走する教育再生会議の矛先は常に学校へ。広がるクレーム社会、学校も理不尽なクレームの対処のため東京都港区では弁護士による相談窓口の新設。アメリカの訴訟社会の再来か。N I E推進協議会発行の実践集第10集が完成した。43校の実践者は「新聞を教育の場に積極的に取り入れ現実生活に結びつけて子供を育成するには新聞活用は有効であり、新聞には無限のレシ



道徳教材にも活用

討論・卒論に生かす

実践報告で 4 教諭発表

実践報告では、札幌市内の小、中、高校の 4 教諭が新聞記事を活用した授業内容を発表、出席者の関心を集めた。札幌山鼻南小の類家斉、月澤康宏両教諭は、5 年国語の「目的に応じた伝



が生まれる」と指摘した。また、札幌もみじ台中の喜田貴美枝教諭は、道徳教育における新聞の活用として北海道新聞の連載記事「おにぎり考」を使い、おにぎりに込められた思いをテーマにして道徳的な心情に迫った授業を紹介。課題はあるが新聞は道徳教材として十分活用できる」と強調した。

N I E 活動出席者の関心を集めた総会・実践報告の経験が豊富な札幌琴似工業高の佐藤啓貴教諭は「過去の事例から学ぶ授業実践」を、具体的な例を挙げて説明した。「授業の大前提として、生徒たちに新聞の切り抜き作業と記事に対するコメント書きを年間を通して続けさせ、言葉の学習・討論・卒論に生かすノート作りを課した。生徒たちはコラムや論文に對する抵抗感がなくなり、自分で書けるようになり、学習の総仕上げになった。学習の総仕上げの卒論は製本しているが、生徒たちは宝物のように大事にする」と述べた。

N I E 実践奮闘記

3 年生で実施している選抜国語科。「言語感覚を磨き、表現力を養おう」を目標に、前・後期各 18 時間で行っている。例えば本の紹介ボスターづくりや朗読劇、自作の語句プリントなど。漢字



岩見沢市上幌向中教諭 江藤 理恵

掲載励みに発信力アップ

誤を重ねるうち、新聞の持つ有用性に気がついた。まず、各記事の文章としての価値。簡潔で良く練られた文章が、社説・コラムなど、随所に見られる。視点、構成、展開のしかた、見出し

能力検定協会の「今年の漢字」や「三行ラブレター」に応募したり、道新の 10 大ニュース予想、正月ジャンボクロスワードに取り組んだこともある。そのような様々な素材を用いて試行錯

のつけ方、読み手に良く伝わるように工夫された表現などをもその文章から学ぶことができる。テレビのようになすぐに消えてしまう情報ではないので、一度で理解できなくても何度も読み返し、考えることができる。それらの面を生かして、自分で新聞記事を選んで難語句

想を交流し、自分でも創作して短冊に表現するという活動を行っている。作品は校内に掲示するなどして、自分が、自分の作品や意見考を公の場に発信させたいと考え、新聞に投稿したところ、2 週にわたり数名の作品が掲載された。同じように、道新「みらい君の広

場」にも積極的に投稿し、必ず何名かは掲載されている。掲載されることにより、家族はもちろんだ、親戚、近所の方などの反応があったり、学級内で紹介され賞賛の聲が上がり、その内容や投稿すること自体についての周囲の意識も高まってきた。

また、「みらい君の広場」の担当者からは、掲載された生徒への温かく丁寧な励ましのお手紙が同封され、生徒は図書券をいただける喜びと共に、その内容にとっても感激し、更なる意欲となってきた。文章力や言語能力を磨くのみならず、発信力を高めたり、社会の動きに目を向け、コミュニケーションも図れる優れた媒体としての新聞を、これからも活用していきたい。

北海道 N I E 推進協議会 07 年度役員 (6 月 25 日現在)

(敬称略)

顧問	吉田 洋一	北海道教育委員会教育長
会長	松平 英明	札幌市教育長
副会長	山田 家正	小樽商科大学名誉教授
	穂積 邦彦	北海道教育庁学校教育局長
	北原 敬文	札幌市教育委員会学校教育部長
	日下部 憲一	北海道 N I E 研究会会長 (札幌市立宮の森中学校長)
	松岡 正行	十勝新聞教育研究会会長 (幕別町立明倫小学校長)
幹事	岡田 実人	北海道新聞社取締役経営企画室長
	吉田 直人	日本経済新聞社札幌支社編集部長
	田崎 耕次	共同通信社札幌支社長
	玉置 薫	釧路新聞社札幌支社長
	藤井 正友	北海道新聞社 N I E 推進センター長 (事務局長)
監事	渡辺 雅春	毎日新聞社北海道支社報道部長
	角木 正文	室蘭民報社札幌支社長

11 月に研究大会

札幌・山鼻南小で

北海道 N I E 研究会の 07 年度総会が 6 月 9 日、北海道新聞社で開かれ、本年度の活動計画などを決め、役員を改選した。同会は、05 年に発足した N I E 活動を進める小中、高の教員の組織。活動計画では①第 12 回北海道 N I E 研究大会(11 月 22 日、札幌市山鼻南小学校)②夏季研修会(北海道・大阪 N I E 実践交流会)(8 月 10 日、札幌コンベンションセンター)③冬季研修会(平成 20 年 1 月 11 日、北海道新聞社 N I E プラザ)――

の開催などを決めた。本年度の事務局は札幌羊丘になった。新役員は次の通り。

◇会長 日下部憲一(札幌宮の森中)◇副会長 上村尚生(札幌新陵東小)坂田恵三(札幌太平中)毛利慎晴(札幌丘珠高)◇幹事 斎藤拓也(札幌幌西小)木一(札幌稲穂中)原努(札幌啓明中)高瀬敏樹(札幌旭丘高)◇支部長▽道央▽道南 深澤昌明(函館神山小)▽道北 菊池安吉(旭川聖園中)▽道東 野上泰宏(音更緑南中)◇監査 田山修三(札幌山鼻南小)向井原保夫(札幌稲穂中)◇事務局長 豊島義明(札幌羊丘中)

新聞に慣れ親しんでいて、記事を探すのが早い楳法華中の生徒たち



実践3年目、生徒の関心高く

生徒たちは慣れた手つきで新聞を広げ、記事を探し出す。6月4日函館市楳法華中3年の国語の授業の様子だ。必要な情報を主体的に読み取り、実社会に出たときに役立つ力を身に付けるのが目的だが、新聞に対する生徒たちの関心はとて高い。

(北海道新聞NIE推進センター委員・小田原賢二)

函館・楳法華中3年生

目的意識持ち「読む」「書く」

同校の全生徒数は38人で、3年生は18人。授業の担当は金子賢教諭。課

社会で役立つ力育てる

実践校
レポート

題は「必要な情報を新聞から読み取ろう」。新聞のさまざまな文章に触れて、目的意識をもつて読み、書く学習。

授業では、最初にこの日のニュースを各自が発見し、子供たちの挙手の反響は早く、内容は野球やサッカーのスポーツばかりでなく、「安倍内閣の支持率急落、35・8%で内閣発足以来最低」「日本海で行った脱北者、韓国行きを希望」など多岐にわたっていた。

授業は、金子教諭が作成したワークシートに

従って進められた。生徒たちは、北海道新聞をめくりながら、課題の4つの情報①セ・リーグの順位を調べよう②道新川柳の中から気に入った一句を選ぼう③行ってみよう④現在までの交通死者数を調べよう―を読み取る作業に取り組んだ。

さらに、新聞の各ページの構成を調べたり、4つの情報以外で、紙面に

掲載されているワッペンなどの付いた決まりものや囲み記事を探し出し、タイトルをシートに記入していった。

最後に授業で学んだことや感想を書いた。「新聞は意外に面白いので、もっとゆっくり読むようにしたい」「いろんな記事が載っていて、生活するのに役立つ」となどの感想が多かった。

同校はNIE実践校に認定されているワッペン。金子教諭は「授業は国語で言えば『書く』『単元の学習になります。国語にこだわらず、総合学習、道徳などの領域にもテーマを広げ、新聞を幅広く活用するようにしています」と話している。

学級・学校新聞 コンクール推進

十勝新聞教育研

北海道NIE推進協議会が毎年刊行している実践報告書の2006年度「教育に新聞を」=写真=がこのほど完成した。希望者に無料配布している。

NIE実践校に認定され、一定期間新聞を無料提供された小、中、高校計43校の担当教諭たちが取り組んだ新聞活用授業の内容が掲載されている。各レポートには、創

06年度実践報告書発刊



新聞活用授業 生き生き再現

意と工夫にあふれた授業風景が生き生きと再現されており、NIE実践中やこれから取り組む先生たちの参考になる。A4

判、265ページ。

バックナンバーも2002年度の第6集以降を無料配布している。希望者は同協議会事務局(北海道新聞社内、☎011・210・5802)へ。

30日函館セミナー
来月14日は釧路で

当協議会主催の本年度NIE地区セミナーは、6月30日の函館セミナーでスタートを切り、7月14日には釧路で開く。

函館セミナーは6月30日(土)午後1時半から北海道新聞函館支社(函館市五稜郭31)で。釧路セミナーは7月14日(土)午後1時半から北海道新聞釧路支社(釧路市黒金町11丁目)で。両セミナーとも今年はNIE活動に造詣が深い北海道教育大学の准教授がミニ講演する。

【第6回函館セミナー】
講演者▽北海道教育大学函館校・阿部二郎准教授
実践発表者▽函館市駒場小・佐藤知教諭▽函館市

十勝新聞教育研究会の19年度総会が4月27日、帯広市東小で開かれ、本年度の活動方針などを決め、役員を選出した。活動方針では①第18回十勝新聞教育研究大会音更大会の開催(10月2日、音更町下土幌小学校)②第6回NIE帯広・十勝セミナー、全十勝小中学校学級・学校新聞コンクールなど従来の共催事業を推進―などに取り組む。

市楳法華中・平沼和彦教諭▽函館工業高・田中一嘉教諭▽函館白百合学園中高・市根井恵子教諭
【第6回釧路セミナー】
講演者▽北海道教育大学釧路校・佐野比呂己准教授
実践発表者▽釧路市愛国小・高桑一夫教諭▽鶴居村幌呂中・水澤好克教諭▽別海町上春別中・伊藤賢次教諭▽別海高・浅野浩教諭

発言欄に“若者特別席”

神戸新聞社

神戸新聞社が2006年10月から発言欄に設けた、小・中・高校生らの投書コーナー「若者BOX席」が注目されている。NIE実践の場、児童、生徒たちの投稿の受け皿にと始めたが、学校現場ばかりでなく、読者にも好評だ。

社説の横に囲みで

「若者BOX席」は、中高年の投稿が多い神戸新聞の発言欄に、NIE実践の場、小・中・高校等で学ぶ児童・生徒たちの投稿の受け皿になればと、NIE事務局が編集局に提案し、実現した。

環境問題、飲酒事故：大人に「警告」

社説の横に位置し、囲み、連日掲載という、発言欄の中でも異例の扱いで、NIE実践校からの応募を中心にスタートした。これまで、子供たちの投稿が少なかつただけに、小・中・高校生らの登場は新鮮で、反響は大きかった。生徒らは、環境問題の深刻さを指摘し、身近なところからの実行を提唱。いじめ追放への決意と命の大切さを訴え、飲酒事故多発の問題では、大人たちに警告さえ発した。投稿の常連組からは「立派な主張。子どもたちを見直した」「毎日読むのが楽しみ」など称賛の声も目立っている。学校では、生徒らが競って紙面を開き、掲載を確認する姿も増えている。「新聞

「立派な主張」常連も称賛

ろからの実行を提唱。いじめ追放への決意と命の大切さを訴え、飲酒事故多発の問題では、大人たちに警告さえ発した。投稿の常連組からは「立派な主張。子どもたちを見直した」「毎日読むのが楽しみ」など称賛の声も目立っている。学校では、生徒らが競って紙面を開き、掲載を確認する姿も増えている。「新聞

いま兵庫で

でいることが透けて見える。

号外発行車も活躍

06年度の兵庫のNIEは画期的な実績を上げた。小野市立大部小の小学生は取材、原稿入力、レイアウトまでをパソコンでこなし、ほぼ2カ月がかりで8ページの新聞を組み上げた。明石市立林小の小学校でも、オープンスクール当日公開授業をしたが、

編集後記

○…道德教育の中で新聞の活用が増えているのを聞くと、うれしくなるが、新聞は副読本として作られていないため、教材とするにはなかなか難しい。察するに、取り組む先生たちのご苦労は大変だろう。

○…札幌もみじ台中の喜田貴美枝教諭は、新聞は副読本と違い、実在のことが載っているため、道德的実践力につながりやすい。しかし、生徒たちの心に訴えるには、文章からイメージを膨らませ、人間の行動であることをもっと実感させるような工夫が必要だという。

○…記事は、記者の目を通して人間の生きざまを書き出している。それを理解させたいと思い、書いた記者のインタビュービデオを自分で撮影し、授業で見せた。

○…結果は、生徒たちを感動させ好評だった。「使い方の工夫で、新聞は道德教材として十分活用できます」。実践発表での同教諭の言葉は自信に満ちていた。(小)

いずれも神戸新聞社の号外発行車「めぐる君」が出動して新聞を発行、保護者や地域に配布した。

07年度は、小・中連携NIE事業を予定しているほか、教員を対象としたNIE研修は5年連続の県開催、3回目の神戸市開催に加え、伊丹、姫路両市でも初めて実施される。N



号外発行車「めぐる君」の前で、完成した新聞を手を喜び、小野市大部小5年生ら

お知らせ

道と大阪の教諭初の遠隔交流会

8月10日、札幌で

NIEに取り組んでいる道内と大阪の教諭たちが意見交換する初の「北海道―大阪NIE実践交流会」が8月10日(金)午後1時半から、札幌コンベンションセンター(白石区東札幌6)で開かれる。

全国43都道府県に設けられているNIE推進協議会は、近畿、中国ブロックで都道府県の枠を超えて実践交流会などを実施しているが、遠隔協同会議の交流会開催は初めて。大阪NIE推進協議会の呼びかけで実現した。北海道NIE推進協議会と北海道NIE研究会の共催。

当日は、道内の3教諭が実践発表し、道内、大阪から各2教諭がパネリストとなって「NIEの魅力と展望」をテーマにパネルディスカッションを行う。

参加申し込みと問い合わせは、札幌羊丘中の豊島義明・北海道NIE研究会事務局長へ(☎011-851-9352、FAX 011-851-0924)。

実践発表者とパネリストは次の通り。

◇実践発表者▽札幌前田中央小・奥野真弓教諭▽深川音江中・寿福史人教諭▽札幌旭丘高校・川瀬雅之教諭

◇パネリスト▽大阪市立昭和の中・植田恭子教諭▽和歌山大学・大阪府立東百舌鳥高・和泉敬子講師▽札幌新陵東小・上村尚生教頭▽札幌丘珠高・毛利禎晴教諭

I Eを通じ、子どもたちの確かな成長を支えていきたい。

(神戸新聞NIE委員会事務局長・小坂雅博)